

日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会の開催について

〔令和 5 年 8 月 29 日〕
〔内閣府特命担当大臣決定〕

1. 趣旨

日本学術会議が、学術の進歩に寄与するとともに、国民から理解され信頼される存在であり続けるという観点から、「経済財政運営と改革の基本方針 2023」（令和 5 年 6 月 16 日閣議決定）を踏まえ、日本学術会議に求められる機能及びそれにふさわしい組織形態の在り方について検討するため、「日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会」（以下「懇談会」という。）を開催する。

2. 構成員

懇談会の構成員は、別紙のとおりとする。ただし、懇談会には、必要に応じ、構成員以外の関係者の出席を求めることができる。

3. 公開等

率直な意見交換を行うため、懇談会は非公開とするが、議事録を作成し、会議後速やかにホームページ等において公開する。

4. 庶務

懇談会の庶務は、大臣官房総合政策推進室において処理する。

5. その他

前各項に定めるもののほか、懇談会の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

検討項目等

- これまでの経緯及び政府案について
- 日本学術会議に求められる機能について
- 今期の日本学術会議の主な活動状況について
- 海外のアカデミーの状況等について
- 組織形態の在り方の基本的な方向性について

日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会 構成員名簿

- 相原 道子 横浜市立大学長 (皮膚科学)、公立大学協会会長
- 五十嵐 仁一 ENEOS 総研株式会社顧問
産業競争力懇談会(COCN)専務理事・実行委員長
元日本学術会議特任連携会員
- 上山 隆大 元政策研究大学院大学副学長 (科学技術政策)
内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員
- 大栗 博司 カリフォルニア工科大学フレッド・カブリ冠教授 (理論物理学、数学)
東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構機構長
アスペン物理学センター理事長
アメリカ芸術科学アカデミー会員
- 小幡 純子 日本大学大学院法務研究科教授 (行政法)
元日本学術会議会員、日本学術会議連携会員
- ◎岸 輝雄 東京大学名誉教授 (材料工学)、元外務大臣科学技術顧問
元日本学術会議副会長
- 久間 和生 農業・食品産業技術総合研究機構理事長
国立研究開発法人協議会会長
- 佐々木 泰子 お茶の水女子大学長 (社会言語学)
- 瀧澤 美奈子 科学ジャーナリスト
日本科学技術ジャーナリスト会議副会長
日本学術会議外部評価委員
- 永井 良三 自治医科大学長 (循環器学)
元日本学術会議会員、日本学術会議連携会員
- 永田 恭介 筑波大学長 (分子生物学)、国立大学協会会長
- 山西 健一郎 元日本経済団体連合会副会長・イノベーション委員長
(元三菱電機会長)

◎：座長 ○：座長代理

※日本学術会議会長に毎回参加を要請することとする。